

ID: [REDACTED]

[REDACTED] 様














性別 [REDACTED] 生年月日 [REDACTED]

処方箋が出された場合には治療と処方薬の確認のため薬局窓口でこの説明書を提示してください。

【ゲムシタピン/シスプラチン(GEM/CDDP)(GC)療法】

スケジュール: 4週間を1コースの治療として繰り返し行います。ゲムシタピンのみの治療日は外来で点滴します。

体調や検査値、副作用によってはスケジュールや点滴時間を変更する場合があります。

		今回のサイクル												次サイクル																													
		4												5																													
日付		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火							
点滴	ゲムシタピン	   がん細胞の増殖の過程(DNA合成)を抑える薬です。																																									
	シスプラチン	 白金製剤と呼ばれ、がん細胞のDNA合成を阻害する薬です。シスプラチンの投与前後には、尿量を増やし、腎臓へのダメージを軽減するために、十分な量の水分と利尿剤の投与を行います。																																									
副作用	血管痛	   抗がん剤の刺激により治療中や治療後に血管の痛みが起こることがあります。治療中に痛みや熱感を感じたらすぐにお知らせ下さい。																																									
	悪心・食欲不振	 治療法に対応した吐き気止めを使用しますが、治療日から数日間、むかつきや食欲不振が起こることがあります。個人差が大きいので、食事や水分が摂れない時はお知らせください。																																									
	便秘	 抗がん剤や制吐剤(吐き気止め)によって腸の動きが悪くなります。水分を十分にとり、下剤を調節して便秘を予防しましょう。(市販の下剤でも構いません)																																									
	口内炎	 骨髄抑制の時期は特に起こりやすくなります。点滴後からうがいで口の中を清潔に保つよう心がけましょう。																																									
	骨髄抑制	 点滴後2~3週目頃が白血球や血小板の数が一番少なくなることが予想されます。この時期は、手洗い・うがいをして感染症にかからないように心がけたり、ケガや転倒に気をつけましょう。																																									
	発熱	 抗がん剤の投与後に発熱がみられることがあります。ただし、風邪などの感染症が原因の場合もありますので、発熱時はお知らせください。																																									
	発疹	 約1割の患者さんに発疹が見られますが治療を妨げるような症状が出ることはまれです。かゆみや炎症を伴う場合には塗り薬や内服薬で対応します。																																									

備考 治療期間中に息苦しい、咳が出る、熱が出るなどの症状が出た場合にはご連絡ください。
 この治療法は、作用の違う薬剤を組み合わせることで効果を高め、副作用を抑えています。副作用は不快なものですが、対処の仕方、気持ちの持ち方によって感じ方は大きく異なります。患者さんご自身で工夫をするとともに、辛いこと、困ったこと等ありましたら、医療者(医師・看護師・薬剤師)にご相談ください。